

2024 年度八戸学院大学 卒業生に関するアンケート 集計結果報告

調査期間：2024 年 7 月 11 日～8 月 30 日

調査対象：2022 年度卒業生就職先

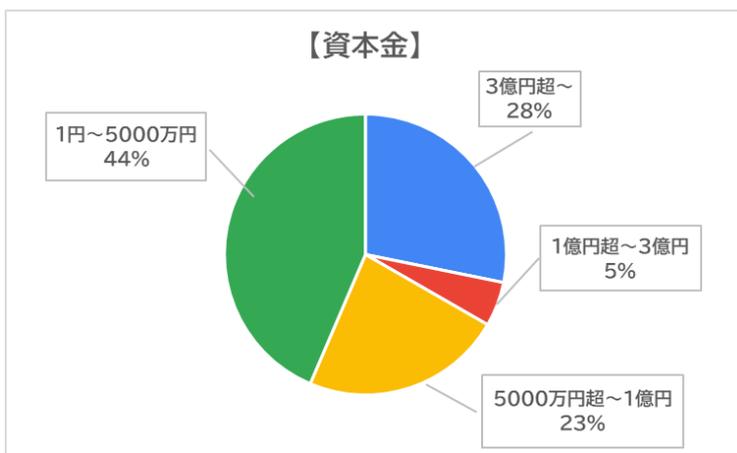
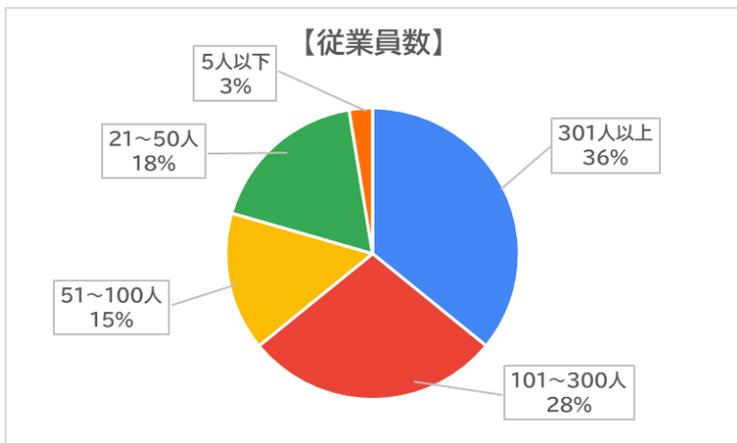
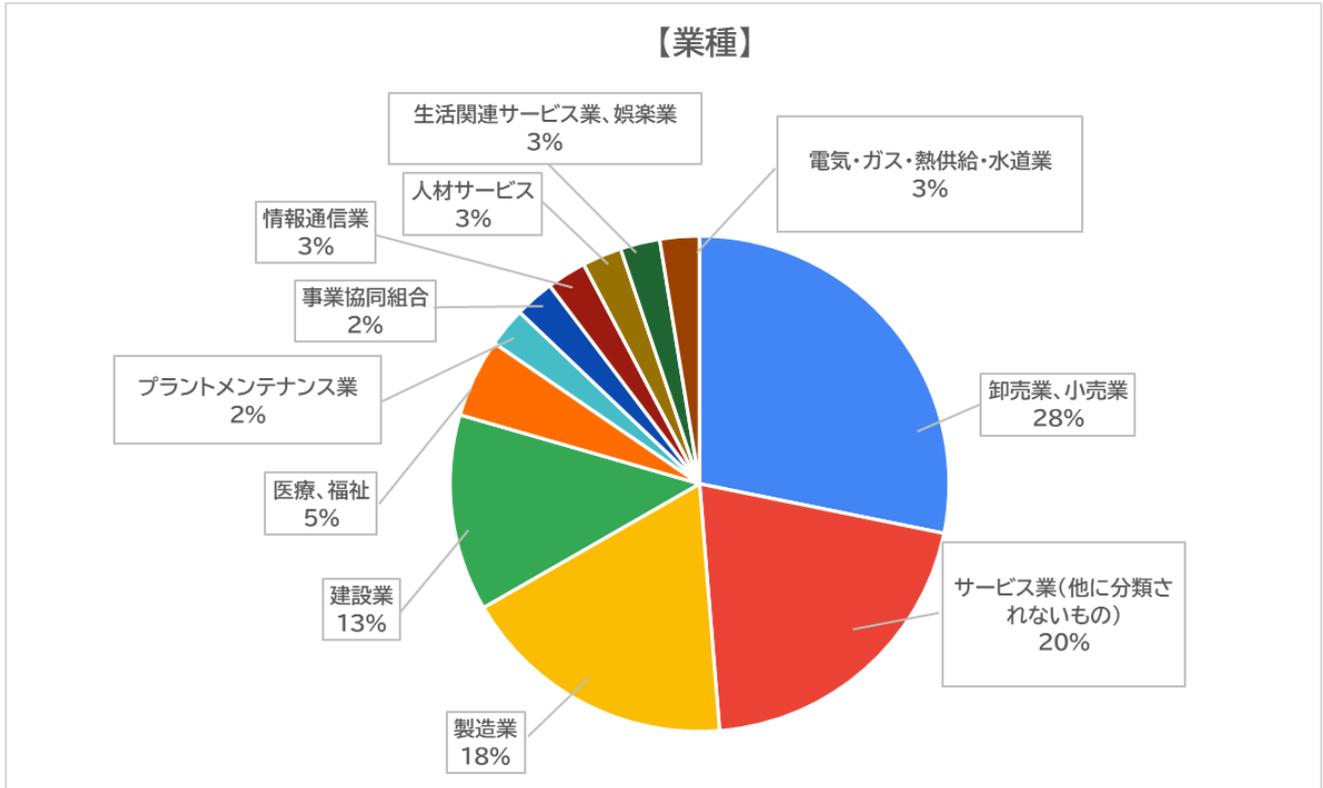
調査方法：地域経営学科、人間健康学科、看護学科の 2022 年度卒業生就職先へアンケート依頼文を送付し、Google フォームおよび書面での回答をいただいた。

回答数：(地域経営・人間健康)111 件依頼⇒39 件回答(回答率 35%)

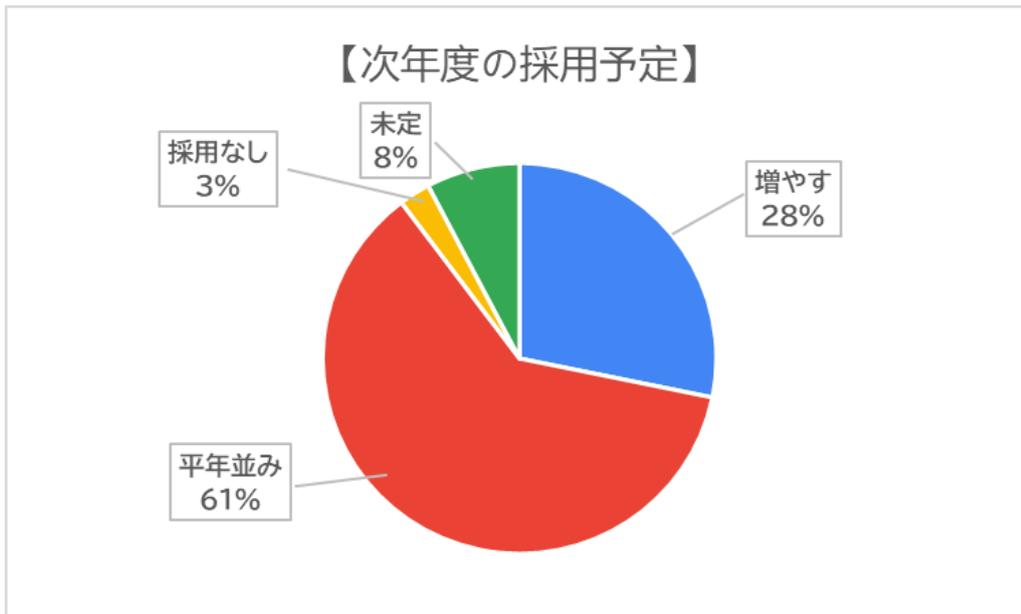
(看護)20 件依頼⇒11 件回答(回答率 55%)

■地域経営学科・人間健康学科アンケート結果

回答をいただいた企業の内訳は以下の通り。

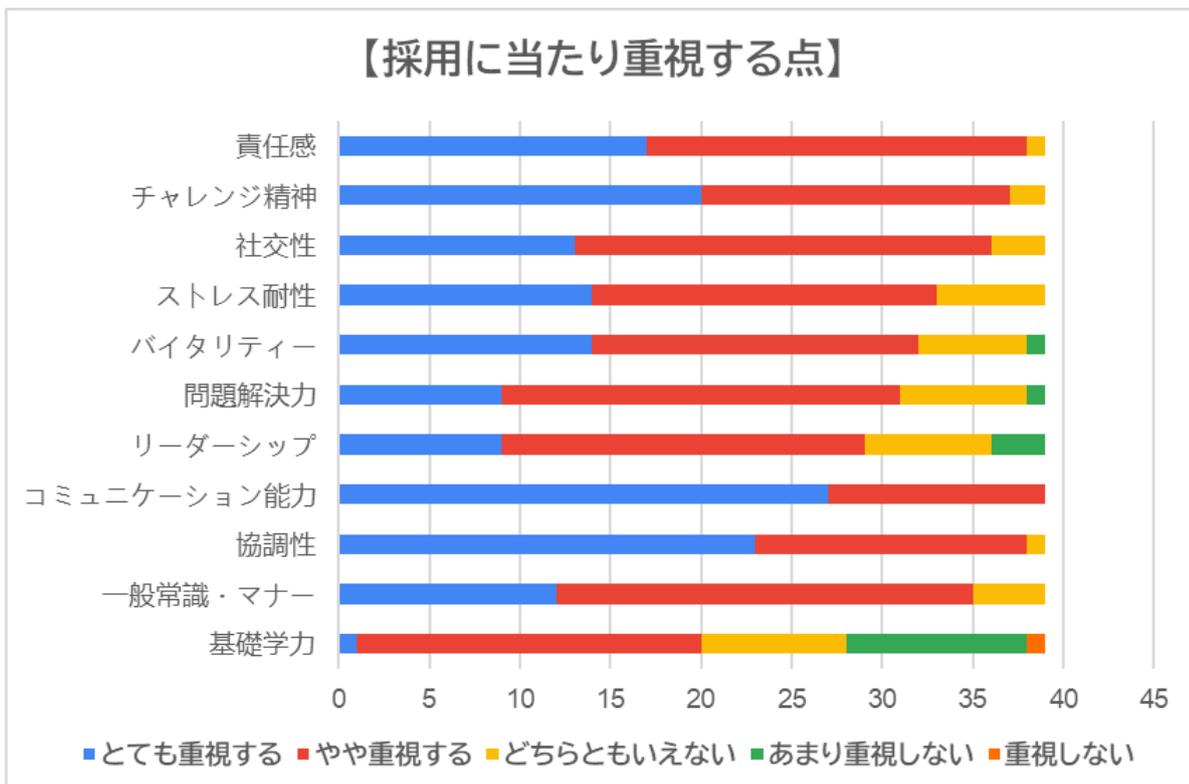


(1)次年度の採用予定



・次年度の採用予定に関しては、「増やす」と回答した企業が昨年度より6%減となり、平年並みと回答した企業が20%増という結果となった。増やしても集まらないという傾向がここ数年続いていることから、平年並みとして様子を見ていられる。今後、売り手市場の就職事情がどのように変化していくのか注視していく必要がある。

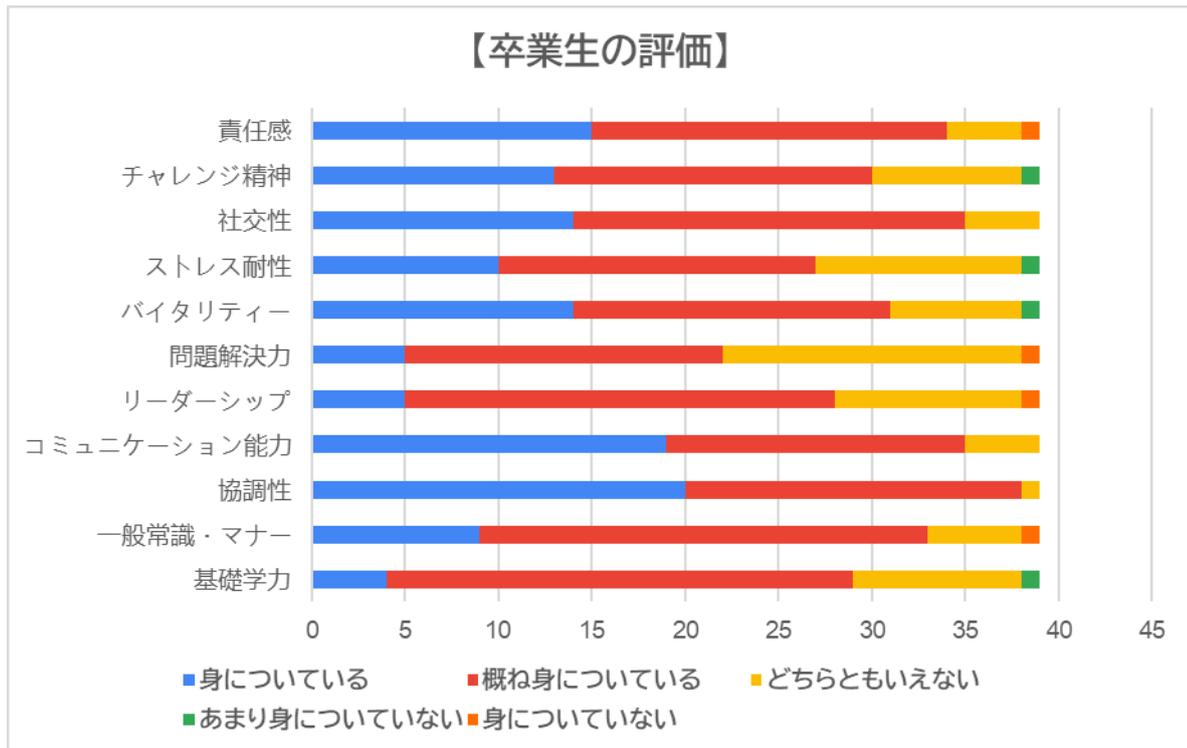
(2)採用にあたり重視する点



・採用に当たり重視する点では、昨年度同様に「協調性」「コミュニケーション能力」「チャレンジ精神」が高い結果となった。若い人材にこそ求めたい能力が高い結果となったが、「責任感」を求める傾向も高くなっており、周囲から信頼され仕事を最後までやり抜く力も求められていると考えられる。

(3)本学卒業生の評価

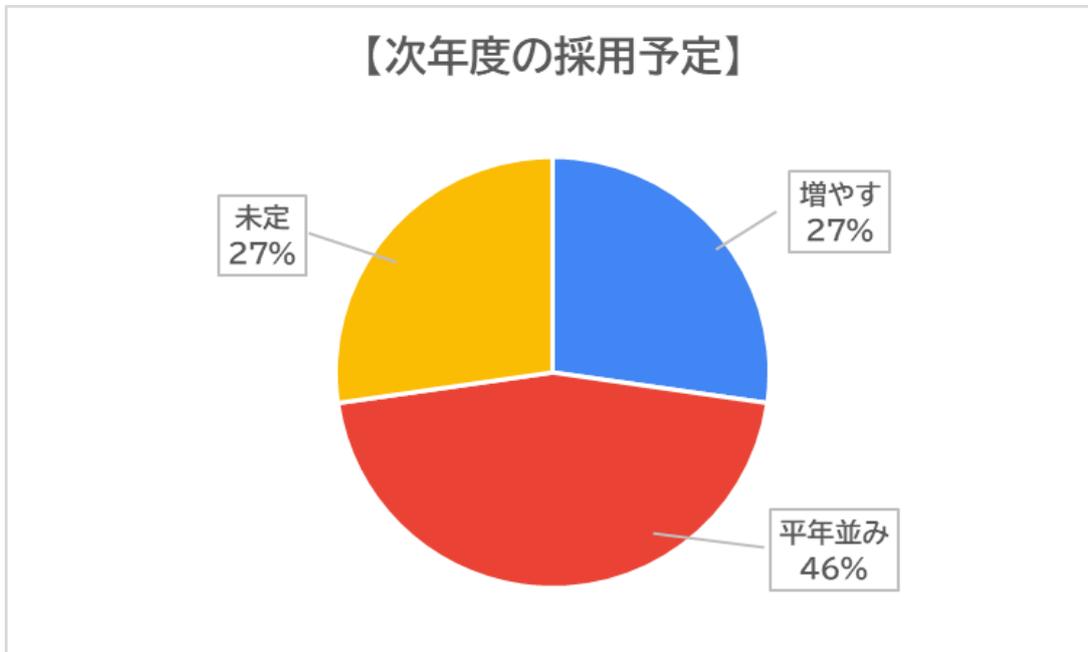
上記(2)の項目についての本学卒業生の評価は以下の通りである。



・企業が学生に求めている「協調性」「コミュニケーション能力」の点では概ね高い評価を得ている。「チャレンジ精神」や「バイタリティー」については、部活動や学外活動などを通してさらに磨きをかけていくチャンスが多くあると考えられる。今後の指導の参考とし、取組に反映させていく。

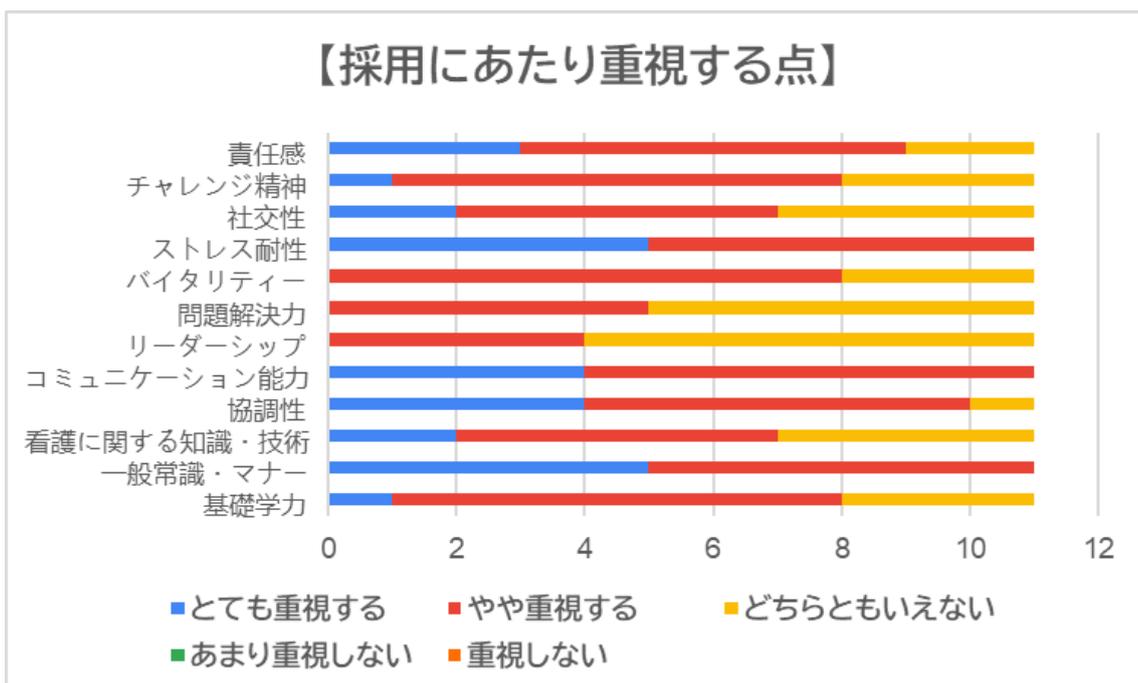
■看護学科対象アンケート結果

(1)次年度の採用予定



・次年度の採用予定に関しては、「増やす」が増加傾向となった。高齢化社会や慢性疾患患者の増加による看護需要の拡大は今後も続くとみられ、採用予定人数の増加は今後も続いていくと考えられる。

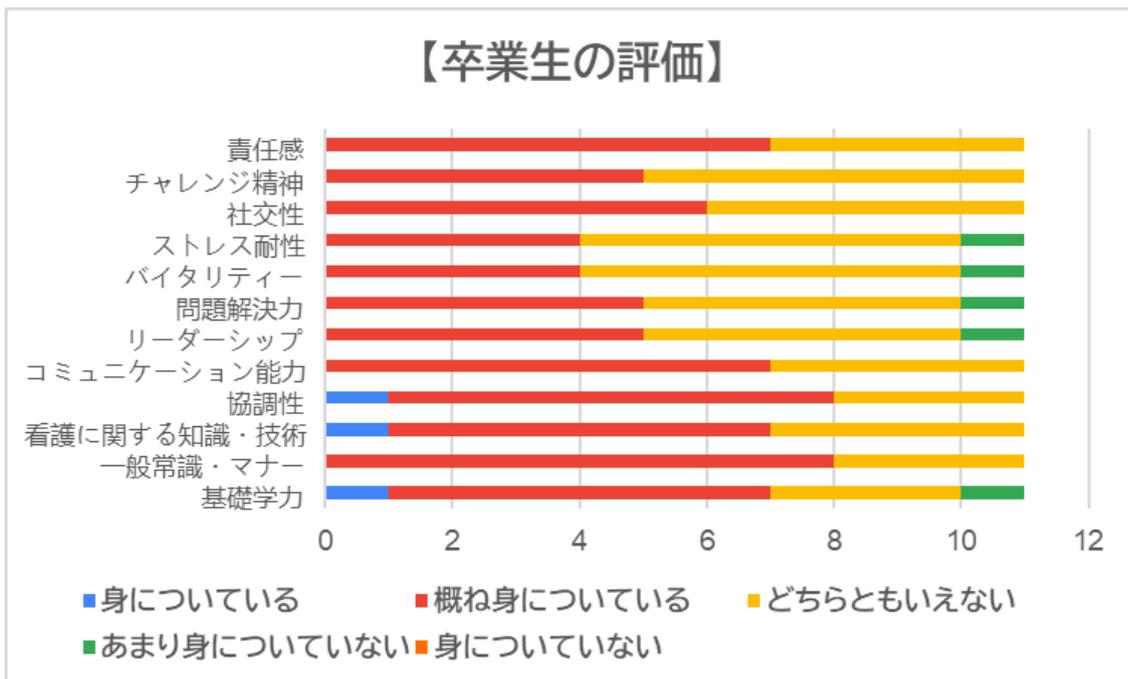
(2)採用にあたり重視する点



・採用にあたり重視する点では、「ストレス耐性」「一般常識・マナー」が高い結果となった。職業柄必要な能力だと考えられ、特に「ストレス耐性」は離職率を防ぐことや、自身のメンタルを守るためにも重要である。一般企業との違いがここにてあり、「コミュニケーション能力」や「協調性」といった部分は共通している。

(3) 本学卒業生の評価

上記(2)の項目についての本学卒業生の評価は以下の通りである。



・全体的に「概ね身につけている」との評価が多く、「身につけている」と評価するにはまだ年数が必要と考えられる。職業柄専門性が高いことが理由と考えられるが、採用において重視される「コミュニケーション能力」「一般常識・マナー」は高い評価を得ている。

「ストレス耐性」については実習経験等を通して在学中にも高めていけるような対策を考える必要がある。